



神奈川県イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川県イグレンニュース

<第182号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センタービル7F

2018年1月号

❖ 今月のコンテンツ

1..... 新年のご挨拶

神奈川県異業種連携協議会 議長 金究 武正 2ページ

2..... 「新事業・新技術支援フォーラム」のレポート

イグレン事務局 松井利夫 3ページ

3..... 10月定例会（国内視察会）分科会の報告

川異研通信 4ページ

4..... 今後の活動予定

海老名サロン 2月27日（火）15:00～

「町工場が出来る地域貢献」(有)川田製作所 川田俊介 氏 7ページ

5..... 新編集担当よりお詫びとご挨拶..... 8ページ

❖ 新年のご挨拶

神奈川県異業種連携協議会の皆様

新年あけましておめでとうございます。



日頃よりイグレン（神奈川県異業種連携協議会）に対して、ご理解ご協力を頂き、誠に有り難うございます。年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

最近、毎日のようにテレビニュースや新聞等で、各企業の業績発表（特に製造業）で過去最高益や数年ぶりの大幅売上増など、明るい報道を目にします。

われわれ中小企業の多くが、今後数年間、受注確保・収益見込みのいずれも、安定又は右肩上がりになると思われます。60代以上の経営者の中には約30年前のバブル景気、その後の崩壊リーマンショック等もあり、経験豊富な先輩経営者でも予測不可能な事が多い業界であります。今後の課題として、雇用問題（人材確保）・製造の合理化・技術開発・品質向上等、5年後、10年後の成長分野にどう舵を取るか、難題が山積しております。当イグレンには各業界の経営者・専門家が多数おり、多くの人脈もあります。会員間の交流を一層深め、難題解決の糸口を掴んでいただければと思っております。

最後に各会員の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念申しあげ、新年の挨拶とさせていただきます。

神奈川県異業種連携協議会

議長 金 究 武 正

❖ 新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

イグレン事務局 松井利夫

第56回フォーラムは平成29年12月11日に開催。初めに、**コージュ(株)の速石さんから**「〈食育〉紅茶とドライフルーツ嗜好品からの脱却」というテーマで紅茶を試飲しながら説明がありました。内容は、ポリフェノールの多い紅茶や良質なドライフルーツにはビタミン・ミネラルが豊富で血液循環の改善される事例が増えてきた。特に**A.E ジョーンズティ**のお茶には金属アレルギー・不定愁訴の改善される事例が増えてきていることや、からだに必要なミネラルは「鉄分」であり、その鉄分は小腸で作られが、血液の質の改善にはドライフルーツなどの積極的な摂取が必要であることと、大腸は身体の体液調整の役割があり、血液循環の改善のためポリフェノールの摂取や、適度の運動が必要だとの説明がありました。

(株)ユニメーションシステムの伊藤さんからは、フィリピンのセブ島に第一段階として冠水警報装置を設置する事業が成り立つかどうかを確かめるため1月末から2月初めにかけて現地を訪問することになったとの説明がありました。日本では最近、冠水警報装置の大切さについての気運が高まっているが、まだ、災害を体験した人は必要性を感じているが、その他の人は実感が無い状況とのことでした。田圃センサーについては、行政がゲートウェイの設置を都会から先に行っていて田舎は後回しになっているため行政の出方を見極める必要がある。田圃センサーを使用する期間は5月から半年間程だから何らかの方法でこの期間までに使えるようにしてあげなければならないと考えているとのことでした。

(株)テクノコンサルタントの石川さんからは、東京都の地下鉄(メトロ)でも「非破壊調査システム」を採用してくれることになったが、岩盤に杭が届いているかだけでなく、何年持つかという耐久性が問題視されています。そこで、耐久性や支持力についてより高いレベルの技術が必要であることから、東大と当社が提携して技術研究所を作ることになり12/21に大分で打ち合わせを行うことになったと説明がありました。

テーブルホーンズ(株)の森さんは、(株)エネショウと共同で三菱総研の「有機水耕栽培事業」を進めているとのことでした。次に、平成29年9月に入会されたサクラテックス(株)の岡田さんから事業内容の説明がありました。

最後に芝専務から、イグレンでは、平成30年2月に開催されるテクニカルショウに出展することになったが、その際、会員の皆様の会社案内、カタログ、チラシ等を展示して宣伝に努めることにした。出展費用は5,000円ですが、出展を希望される方は申込んでほしいとのことでした。更に、「ものづくり交流・政策研究会」を立ち上げたいとの説明がありました。進め方等については後日お知らせするとのことでした。

【お知らせ】 次回(第57回)は1月24日(水)14:00より、大研修室で開催します。

❖ 10月定例会（国内視察会）の報告

【川異研通信】

当研究会では毎年10月に、国内と国外視察会を交互に実施している。

今年度は国内視察の年で、10月13日(金)～14日(土) 会員15名の参加を得て、広島県呉市の視察会を行った。



【13日（金）】

羽田空港から広島に向かった。目指す呉市は広島空港から山陽自動車道をリムジンバスで約1時間の場所に位置している。呉市内に入ると、元は帝国海軍、今では海上自衛隊の拠点となっているだけに、臨海工業都市の重厚感と迫力のある雰囲気が感じられた。

昼食は、今回の宿でもある呉阪急ホテルにて護衛艦「うみぎり」の隊員が食べているカレーを再現したものをいただいた。

最初の視察地、海上自衛隊「呉地方総監部」では、広報係の増田氏より、海上自衛隊の歴史や役割について説明を受けた。特に第2次大戦末期、米国は日本に対して「飢餓作戦」と呼ばれる海上輸送路を断絶する作戦で、多量な「機雷」を仕掛けた。その数は1万数千発にもものぼり、当時物資の輸送を海路に頼っていた日本は大きなダメージを受けることになった。現在でも年に数発が発見され処理されている。危険な機雷を取り除くことから日本の戦後復興作業は始まった。今では海上自衛隊の掃海技術は世界最高水準になり、重要海峡に仕掛けられた機雷処理のために「機雷掃海艇」による排除作業が大きな国際貢献へと結びついているとのことだった。

続いて今年の3月に就役したばかりの海上自衛隊最新鋭の護衛艦「かが」の視察を行った。想像以上に広大な甲板（全長248メートル・最大幅38メートル）や格納庫には一同驚きの声を上げていた。

また大変光栄なことに、海上自衛隊第4護衛隊群司令 海将補の福田達也氏、「護衛艦かが」艦長の1等海佐の遠藤昭彦氏がお見えになり、ご挨拶をいただいた。また遠藤艦長自ら操舵室や、装備についてご案内をいただき、一同貴重な体験となった。

その後は停泊中の潜水艦の甲板にも上がり、今にも滑り落ちそうな思いで先端まで行き、歓声をあげていた。

【14日（土）】

2日目は第1術科学校（旧海軍兵学校跡地）を見学した。こちらは、海上自衛隊の教育の場であり、明治21年（1888年）海軍兵学校が東京の築地からここ江田島に移って以来、多くの海軍

士官を輩出してきた。現在は、貴重な資料の保管や展示、海軍の良さを伝承しつつ、海上自衛隊の幹部自衛官や海曹士自衛官の育成の場となっている。

案内は海上自衛隊OBの方で軽妙な口調と話術で約1時間半の行程を楽しませていただいた。

視察の締めくくりは「呉市海事歴史科学館」(大和ミュージアム)と「海上自衛隊呉史料館」であった。大和ミュージアムにはその名の通り、実物の10分の1サイズの戦艦大和の模型が展示されている。またすぐ隣には海上自衛隊で就役していた実物の潜水艦「あきしお」がそのままの姿で展示されている。その艦内では海上自衛隊の歴史や装備品、機雷の脅威と掃海艇の活躍など、実物・模型・絵図や映像などを用いて紹介されていた。

予定の視察を終了し、広島空港を発ち、羽田空港に予定通り到着し解散した。

❖ 10月分科会の報告



10月5日(木)、午後6時30分より中原市民館第1会議室にて、10月分科会を開催した。会員9名、和光大学生6名の参加を得た。

今回のテーマは「身近な人の終活について」である。講師には、当会会員、株式会社神奈川こすもす 野尻 成久氏を迎えた。身近な人が亡くなった時、様々な問題が起きるということを、具体例を交えながら教

えていただき、どのように避ければよいかをわかりやすくご講義いただいた。その後行われた懇親会では、葬儀や相続のトラブルについて、より詳しく話をしていただいた。

葬儀サービスを扱う会社ならではの貴重な講演であった。

❖ 今後の活動予定

➔ 第43回 海老名サロン

日 程	2月27日（火）15：00～ (※日付変更してます。ご注意を。)
場 所	神奈川中小企業センター 6階 大修室 横浜市中区尾上町5-80
内 容	「町工場が出来る地域貢献」 (有)川田製作所 川田俊介 氏
参加費	3,500円（交流会費込み）
連絡先	愛 賢司

皆さんの参加をお待ちしております！

❖ 神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

❖ 新編集担当よりお詫びとご挨拶

イグレンニュースの編集・発行を新しく担当することになりました愛賢司です。

新年早々のニュース発行が大幅に遅れましたことを会員の皆様にお詫び申し上げます。

特に、早々とニュース原稿を送っていただいた皆様には、気をもまれたことと存じます。ご迷惑をかけたことを陳謝申し上げます。今後ともイグレンの活動の紹介のため原稿をお送りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。